

# 清川村特産品開発プロジェクト

## プロジェクトの概要

### 【今年度の活動実績】

- グループ決め・自己紹介
- 清川村について徹底的に学ぶ  
→ 清川村の魅力・特産品・課題を深く理解  
(歴史・自然・人など調べ学習、現場に行き話を聞いた)
- お客様の声を聞くアンケート実施  
→ GoogleフォームのQRコードが入ったチラシを配布し、「どんな商品が欲しいか」を調べるために、現地の方々に協力してもらった。
- アンケート結果をもとに商品を考えた  
→ みんなの意見を分析し、大まかではあるが、どのような商品が売れるかを検討。

### 【今年度の変更点】

- 昨年度：1年間で商品開発を完結
- 今年度より：2年間で商品開発を行う方式に変更

### 【今年度（1年目）の活動内容】

- 清川村について徹底的に学ぶ
- お客様の声を聞くためのアンケートを実施し、アンケート結果を分析する
- 商品の大まかな方向性を決定

### 【来年度（2年目）の予定】

- 清川村役員と協議を行い、商品を具体化・最終決定
- 試作品の制作
- パッケージ・ネーミング等のデザイン決定
- 商品の発売

## 今年度の活動紹介

### 「道の駅 清川」でのアンケート調査

清川村に観光に来てくださった方へ  
清川村に関する  
特産品開発に向けた調査  
アンケート調査実施中  
【全10問 3分前後】

自然豊かな山村として知られている清川村をもっと色んな方に知つてもらいたいという気持ちから特産品開発プロジェクトを行っています。  
今回は、どのような商品を開発したら良いのか考えるためにアンケート調査をしております！  
皆様のお力を貸していただけないでしょうか？

清川村  
相模女子大学  
特産品開発プロジェクト

実施期間  
8月24～9月19日

アンケートQRコード↓



清川村に観光に来てくださった方へ  
清川村に関する  
特産品開発に向けた調査  
アンケート調査実施中  
【全10問 3分前後】

自然豊かな山村として知られている清川村をもっと色んな方に知つてもらいたいという気持ちから特産品開発プロジェクトを行っています。  
今回は、どのような商品を開発したら良いのか考えるためにアンケート調査をしております！  
皆様のお力を貸していただけないでしょうか？

清川村  
相模女子大学  
特産品開発プロジェクト

実施期間  
8月24～9月19日

アンケートQRコード↓



夏休み期間中に、QRコードを掲載した用紙を用いて、「道の駅清川」に訪れたお客様へアンケート調査の呼びかけを行いました。



### ★プロジェクトのおすすめポイント

- ・アンケート配布・ビラ配り・現地調査など、普段の授業では体験できない実践的な活動ができる
- ・特産品開発にゼロから挑戦できる貴重な機会
- ・地域密着・村おこしという社会貢献につながるプロジェクトである
- ・現場でしか得られないリアルな学びが多く、視野が広がる
- ・道の駅の販売者から直接生の意見を聞く（将来設計に役立つ）
- ・現地の人の声を直接反映できる（机上ではないリアルな商品開発）

## プロジェクトを通して、どんな時に成長を感じたか

### ①グループワークにおいて自分自身の意見を自ら伝えられるようになった

→アンケート調査の結果や考察したことを用いて、グループワークや互いへのフィードバックを行ったことで、考えたことや感じたことを自ら発言することができるようになった。

### ②人への伝え方を考えられるようになった

→グループ活動の意見交換では、簡潔に話すだけでなく、相手への分かりやすさが必要だと実感し、どのような伝え方が良いのかを考えるようになった。

### ③自分で調べ、整理して伝える力が身についた

→清川村の魅力や特産品などについて、自分たちで調べたり共有したりすることで、情報収集力やまとめる力が養えた。

### ④自ら考えて行動する姿勢が身についた

→商品販売に際して、注目点や工夫点など、学科の学びだけでは得られない実践的な知識が得られた。課題を自身で見つけて解決につなげるために動く力が身についた。

### ⑤積極的な声がけができるようになった

→アンケート調査を行ったことで、積極的にお客様に話しかけられた。

## プロジェクトに参加したことで新たに気づいたことは何か

### ①あらゆる視点において、課題や問題点を検討することが大切だと気づいた

→商品開発を実現するためには、消費者のニーズ、特産品の特徴、販売価格、実現可能性など、様々な視点で考え、検討しなければならないことに気づき、幅広い視点で物事を見ることが大切だと分かった。

### ②挑戦したことでのやりがいや達成感を味わえることに気づいた

→自分自身の興味のある活動に挑戦することで、やりがいや達成感が味わえることが分かり、挑戦して良かったと感じた。

### ③時間をかけて考えることやアンケート調査の実施により、より良い開発ができると考えられた

→昨年度よりもじっくりと考えて商品開発ができたり、アンケート調査を用いることで、地域との交流や得られるデータが増え、上手く開発ができると考えられた。

### ④想像や思い込みでは、実態はわからないことに気づけた

→こんな商品が良さそうと思っていたものが、アンケート調査では、需要が低かったりなどしたことから、思い込みではなく、実際にデータを得ることが大切だと気づいた。

### ⑤裏側にある努力の多さを知れた。細かな仕掛けの重要性を実感した

→何度も試作を行ったり、同じ品質を保つための工夫など、裏側の努力を知れた。また、多くの人の手にとってもらうためのレイアウトの工夫など、消費者の視点に立った細やかな仕掛けが重要だと実感した。

SNS・申込について

募集説明会の情報は、Smile Sagamiのお知らせ配信をチェック！